

「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン支援事業」

食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会

報告者：副会長 大村 洋子

主催：公益財団法人 日本学校保健会、ファイザー株式会社

共催：京都府教育委員会

日時：平成25年6月14日（金） 13:30~16:20

会場：みやこめっせ

参加対象：京都市内（京都市立含む）幼稚園、小学校、中学校、
高等学校、特別支援学校の教職員、学校医、学校歯科医
学校薬剤師、京都市含む市町教育委員会職員

① 最初に日本学校保健会事務局長、並木茂夫 様より挨拶があった。学校の アレルギー疾患に対する取り組みガイドラインを、各学校に配布してから、5年が経過した。積極的に、アレルギー疾患対策委員会を設置して、三師の協力のもと今回の研修を踏まえて学校全体で対応して頂きたい。との話があった。

学校におけるアレルギー疾患への対応について

文部科学省スポーツ・青年局学校健康教育課

学校保健対策専門官 知念 希和 氏

・多様化、深刻化する子どもの健康課題に対応するためには、学校と家庭、学校と地域の医療機関等との連携がそれぞれ不可欠。

＊アレルギー疾患やアナフィラキシーへの対応は、特別な子どもへの配慮としてではなく、一般的に行う事。

・「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」

平成20年4月 発行：日本学校保健会 監修：文部科学省

「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を活用する。

ポイント・各疾患の特徴を良く知る。個々の児童生徒の症状の特徴を把握

【取組】（例：じんましんから発症、腹痛から発症）

症状が急速に変化することを理解し、日頃から緊急時の対応への準備をおこなっておくこと

出発点→保護者より：主治医への管理指導表への記載依頼、学校への提出
<緊急時の個人情報の取扱い>

保護者より提供された情報を教職員全員で共有することについて説明すると共に、同意の署名をもらっておく

＊もしも、同意を得られなくても緊急の場合（命にかかわっている場合）
個人情報を取り扱う事は、個人情報保護法で認められている。

<学校給食での食物アレルギー対応>

レベル1：詳細な献立表対応・原因食品を除外しながら、食べる対策

レベル2：一部弁当対応

レベル3：除去食対応・申請のあった原因食品を除いて給食を提供

レベル4：代替食対応・別の食品を用いて補って給食を提供

<除去食対応に当って>

現状で行うことのできる最良の対応を検討することが大切。

医師の指示に基づく事を根本とし、保護者の希望に沿ってのみ、行わない
家庭での対応以上の対応を、学校給食で行う必要はない。

（その食材を食べられるか、食べられないか シンプルに考える）

<学校でのアレルギー対応についての情報>

・文部科学省ホームページ ・厚生労働省ホームページ ・喘息等の情報館

・公益財団法人日本学校保健会 学校保健ポータルサイト

（学校生活管理指導表、活用のしおり、啓発資料、Q&A等）

園・学校でアレルギー児とどう向き合うか？

～食物アレルギーによるアナフィラキシーに焦点を当てて～

滋賀県立小児保健医療センター小児科・保健指導部

楠 隆 氏

- ・食物アレルギーの即時型症状（食べてすぐに症状がでる）
コントロール不良の喘息を合併している症例では、リスクが高まる
食後の激しい運動によって症状が誘発されることもある

<アナフィラキシーの定義>

- ・急速に起こり、死に至る可能性もある重篤なアレルギー反応
- ・可能性のあるアレルゲンとの接触後、以下の症状のうち2項目以上が
数分から数時間以内に起こる場合
皮膚粘膜症状 呼吸器症状（呼吸困難、喘鳴など） 消火器症状（腹痛、
嘔吐など） 低血圧症状（虚脱、失神、失禁など）

<アナフィラキシー時の緊急対応>

- ・仰向けで寝かせるか、血圧低下が疑われているときは、仰向けの状態で
足側を 15~20 cm高くする姿勢（足の下に毛布、バスタオルなど入れる）で
横たえる
- ・移動させる必要のある場合、担架等の体を横たえることが出来るものを
使用し、背負ったり座らせたりしない

エピペンについて

エピペン・・・成分名：アドレナリン 2003年に承認 1本1万程度自己負担

2011年9月より、保険適用となる

0,15 mg（体重 15~30kg が目安） 0.3 mg（体重 30kg が目安）

（楠 Dr.・・・15kg 未満の場合でも、10kg 以上あってリスクが高ければ処方）

保存方法・・・15℃～30℃で保存（冷蔵庫の中にはおかない）

（注意事項）

*日光の当たる高温下や夏場の車のダッシュボードの中には、放置しない
夏場の教室の中ぐらいただったら、大丈夫。

光より分解しやすいので、携帯ケースに収めた状態で保存、携帯する

- ・注射器の窓から見える薬液が、変色していたり沈殿物が見つかった場合は
使用しないこと。
- ・有効期限（1年）が切れたら再度処方を受ける。

<保健所・幼稚園や学校での取扱い>

*良く話し合いあらかじめ、次の事を決めておく

①アナフィラキシー発現時の対応方法（役割分担や手順）

②エピペンの保管場所（他の児童が誤って使用しないように、またすぐとり
だせる場所に）

② エピペンを誰が打つのか（打ち方やタイミングを事前に関係者がしって
おく）打つ時は、ペアで。一人、足を押さえ役があったほうが良い。

{エピペンの使用判断のグレード表（5段階）}

一覧表をエピペンと同じ場所に置いて、エピペンを打つ判断材料とする
グレード4：頻回の嘔吐下痢、呼吸困難、チアノーゼ、犬の遠吠え様の咳

不整脈、軽度の血圧低下、四肢冷感 発汗、めまいなど

他にグレード表（3段階）もある：2・・・使用を考慮 3・・・必ず使用

*エピペンの副作用

ふるえ、熱感、発汗、蒼白、血圧異常上昇、脳出血など

効果は一過性で、アレルギー以外の基礎疾患のない（不整脈）小児ならまず
問題にならない。

*エピペン使用後は、速やかに医療機関を受診する。使用したエピペンは
で医療機関で回収するので、持参すること。

*救急救命士による代行注射 2009年3月

- ・救急車をよんで救急救命士に代行注射してもらうことも可能になった。
- ・ただし、あくまで自分のエピペンを持っていて、誰も使える人がいない場合に（救急車にエピペンが常備されているわけではない）
- ・実際の対応には、地域による温度差があるので、管轄の消防署に確認しておくことが望ましい。

*教職員のエピペン使用に関する見解

アナフィラキシーの救命の現場に居合わせた教職員が、エピペンを、自ら注射できない状況にある児童生徒に代わって注射することは、反復継続する意図がないと、認められるため、医師法違反にはならないと考えられる。

エピペンに対する正しい理解と行動が、児童生徒の生命を守ることにつながる使わないで様子を見ている方が、よっぽど怖い。

<情報>

滋賀県立小児保健医療センター アレルギー科 ホームページ
保育所・幼稚園・学校保健関係の方へ（エピペン対応マニュアル）

・添付資料

- ・スライド「エピペンについて」（パワーポイントファイル）
アナフィラキシー5段階評価も含む
- ・保育所におけるアレルギー対応ガイドライン
アナフィラキシー3段階評価も含む
- ・エピペンの使い方
- ・学校生活指導表（アレルギー疾患用）
- ・緊急時の対応プラン具体例
- ・食物アレルギーによるアナフィラキシー学校対応マニュアル（小・中学校編）

